

SCHOOL TEACHERS

生徒想いの個性豊かな先生！

「ちょっと面白そう」を
発見してほしい



理科 柴田 淳和 先生

私は物理の教員としてリアルな物理現象を示しながら、理科への関心が高まるように楽しく授業を行っています。物理は複雑で生徒たちにとって理解が難しいことがあります。授業ではシンプルな言葉と身近な例を用いながら説明することで、生徒たちが理解しやすいように工夫しています。そして、魅力的な授業内容と日常生活に潜む科学をより身近に感じてもらい、理科嫌いから「ちょっと面白そう」な理科を目指しています。

学校教育の中では、良い点を取ればそれだけで評価される、そういう風潮があると思います。が、一歩社会に出れば点数よりも人間性ということがよくあります。良い点が取れることに越したことはありませんが、市川高校ではそうでなかった場合にも社会に役立つ心の教育に重きを置き、地域社会を支える人材を育成していきたいと考えています。そのため、小学校・中学校の自分に満足できていない生徒や学校ってさほど面白くないと思っている生徒に見てもらって、学校の面白さを再発見してほしいと思っています。



$\sqrt{1}$

abc



国語 宮本 美穂 先生

私は国語の教科を担当しています。授業をする上で日頃から意識していることは「論理的思考力の育成」と「言葉を介しての感性・情緒の育成」です。社会に出るための準備段階にある高校生には、論理的思考力を養い、自分の考えや意見を論理的に伝えられる力を身につけてほしいと考えています。「自分の頭で考える」ということが大事なので、「発問」の仕方や授業のテンポも意識的に変え、「発問」から多方面に学習が深まるように授業を工夫しています。

一方で「感性・情緒力」の育成は言語教育の柱だと考えており、物語や古典を扱う際には「日本語の美しさ」を意識しながら作品を読むようにしています。国語を通して多くの書物に触れ、一つひとつの「言葉」に立ち止まってその意味について深く考えたり、時には文の流れを意識させたりと「点と線」の視点でアプローチしていくことで全体を読解していく授業を心がけています。また、自分自身が常に言葉に敏感であることと、教材によっては毎年扱うものもあるのですが、回数を重ねても新鮮な感動を忘れないことを大切にしています。



好奇心と未来の
可能性が広がる場を提供



Topics

生徒会活動と情報メディア部の指導をしています。生徒会活動では生徒が自主的に募金活動などの様々なボランティア活動や学校行事に取り組んでいます。生徒が主役の学校づくりをしていくことで一人ひとりが輝ける活動をしていきたいと考えています。

情報メディア部ではeスポーツ大会に出場するだけでなく、生徒によるeスポーツ大会企画運営、動画制作なども日々の活動として取り組んでいます。周囲と協力しながら一つの目標に向かっていく部員の姿を見て、この経験を活かせる道は広くあり、将来の進路も様々だと思いました。学校教育とうまく連携していくことで、生徒が活躍できる環境を整えていくことが私の役割だと思っています。



3人の先生は市川町出身！

彼らは、地域愛を持って学校と地域をつなぐ架け橋となり、地域の発展と学校の成長を支えています。教育活動については地元の歴史や文化を伝えるだけでなく、地域のイベントやボランティア活動にも積極的に参加し、地域貢献の大切さを教えています。

市川高校は、地域を担う人材を育成することに使命を感じています。

Topics

生徒たちが最も楽しめる学校イベントである文化祭に力を入れています。教員として生徒がどうすれば全力で楽しんでくれるのか、また芸術などの文化に触れ、豊かに成長してくれるのかを考え、10年前からプロジェクトマッピングなどのデジタルアートを用いて視覚的に楽しむ文化祭を展開しています。創意工夫があれば色々なものを作り出せる、あっと驚くようなことも力を合わせれば出来ることを文化祭では感じてほしくて、全校生徒参加型のクイズ大会やeスポーツ大会もあり得ない規模で実施しています。



デジタルアートを駆使した文化祭のステージは、まるでライブのような盛り上がり♪



国語 佐野 武 先生

探究意欲を芽生えさせる
「きっかけづくり」を共に考える

Topics

2023年度から始まった新しい活動である「地域探究」を担当しています。市川町に関するテーマの内、生徒が興味のあるものを選択し、自ら主体的に探究していく活動です。例えば「地域の美味しいものを発掘し、旨味を開拓するグルメ探究」、「地域のゴミ問題や再利用、清掃スキルの革新に挑む美化探究」など。毎週木曜日の5・6時間目に活動を進めています。

情報にありふれた社会だからこそ、生徒が直接訪ね、様々な人と触れ合い、見聞きすることが大切なのではないかと考えています。高校生ならではの純粋な表現を尊重し、ユーモアのある発想力を促進することが私の務めであるとも考え、日々の授業展開を心がけています。

また、活動内容をクラス全体に共有することが、生徒たちにとってお互いの探究に興味を持ち、モチベーションの向上に繋がると思い、Instagramでの投稿やGoogleドキュメントによる共有など、誰でもいつでも閲覧できるようにしています。

地域探究の活動を通して明るく挑戦していくためのスキルを身につけてもらえれば、社会に出た時にそれが生きる力となることを信じています。

休み時間や普段の何気ないコミュニケーションから授業中では見えてこない生徒の一面を知り、個々の趣味に合わせた言葉かけやアドバイスをしています。単なる雑談ではなく生徒の心の壁を開いて、受け入れてもらいやすい状態をつくるためです。

また、私はこの学校を「地域に愛される学校」にしていきたいです。探究活動を通して恩返しをしていくことで、地域活性化に貢献していけると考えています。そのために生徒をはじめ様々な方と共により良い教育活動を目指していきたいです。

